

**製品名: DDIT3 (7G7) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03606**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 19 kDa; Observed MW: 27 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DDIT3
別名	DDIT3; CHOP; CHOP10; GADD153; DNA damage-inducible transcript 3 protein; DDIT-3; C/EBP-homologous protein; CHOP; C/EBP-homologous protein 10; CHOP-10; Growth arrest and DNA damage-inducible protein GADD153
遺伝子 ID	1649
SwissProt ID	P35638
免疫原	AA 範囲 10-90 の CHOP の合成ペプチド

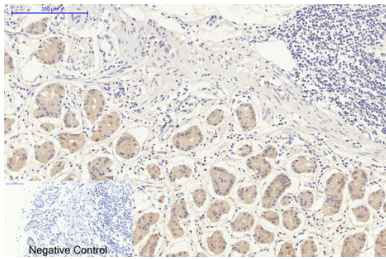
**背景**

DNA に結合できないヘテロダイマーを形成することにより、C/EBP および LAP の DNA 結合活性を阻害します。

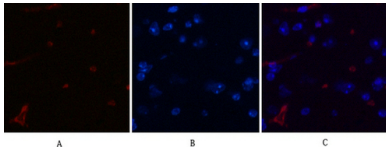
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

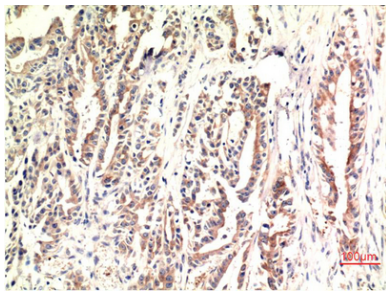
## 画像データ



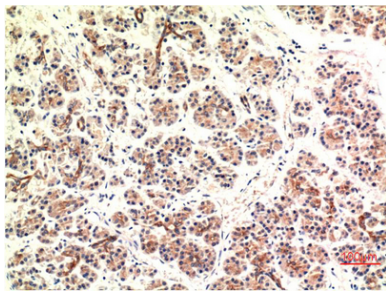
DDIT3 (7G7) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



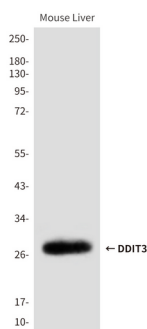
DDIT3 (7G7) 抗体 (赤) および DAPI (青) を使用したマウス脳組織中の DDIT3 (7G7) の免疫蛍光分析。



CHOP 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CHOP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膵臓癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



DDIT3 (7G7) 抗体を使用したマウス肝臓溶解物中の DDIT3 のウエスタンブロット分析。

